

寅さん歩 その26

東京の主要道路の起点～終点

尾竹橋通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」と歩いてきました。

今回は「尾久橋通り」と並行して埼玉県境へ向かう「尾竹橋通り」を歩いています。尾竹橋通りは台東区の言問通りの鶯谷駅前交差点を起点に、隅田川にかけられた尾竹橋、荒川にかけられた西新井橋を渡り、埼玉県境に至る延長約10kmで荒川区・足立区を縦断して埼玉県東部と都心東部を結ぶ道です。写真右上は尾竹橋通りの道路名標識（都道461号線）です。起点からの都道313号線は千住桜木町交差点から都道461号線に変わりました。前回は起点の鶯谷駅前交差点から尾竹橋まで歩きました。

今回は尾竹橋を渡り、終点の埼玉県境まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[尾竹橋] 足立区千住桜木二丁目

最寄駅 バス利用でJR常磐線 北千住駅

荒川区との区境は隅田川の真ん中で尾竹橋を渡り切った所（写真下左）に足立区の表示がありました。尾竹橋を渡った左には尾竹橋公園（写真下右）がありました。桜の木なので春には楽しみ場所です。



[千住桜木町交差点] 足立区 千住桜木二丁目

最寄駅 バス利用で J R 常磐線 北千住駅

千住桜木町交差点（写真下右）で右から来た墨堤通り（都道 461 号線）が終点となります。墨堤通りは桜の時期に歩く予定です。合流した尾竹橋通りは名前が都道 461 号線に変わり、西新井・草加方面に向かいます。交差する都道 449 号線は左へ行くと扇大橋・江北橋方面、右へ行くと千住新橋方面です。



[西新井橋南詰交差点] 足立区千住桜木二丁目

最寄駅 バス利用で東武スカイツリーライン 西新井駅

写真下左は西新井橋南詰交差点です。ここから荒川にかかる西新井橋（写真下右）を渡ります。



[西新井橋]

西新井橋は荒川にかかる橋で1922年（大正11年）2月開通し、橋名は西新井大師への経路に因んで付けられました。現在の橋は1960年（昭和35年）の竣工です。写真下左は橋から見た前方の足立区側で中央環状線が通っています。写真下右は橋から荒川区側を振り返りました。



[西新井橋北詰交差点] 足立区本木一丁目

最寄駅 バス利用で東武スカイツリーライン 西新井駅

写真下左は西新井橋北詰交差点です。写真下右は橋を下りた所の交差点です。左へ行くと扇大橋北詰方面、右へ行くと千住新橋・日光街道方面です。交通機関はバスが頼りです。



[関原の森] 足立区関原一丁目

最寄駅 バス利用で東武スカイツリーライン 西新井駅

関原の森交差点（写真下左）で右折するとすぐ左に「関原の森」（写真下右）があります。



関原の森は1994年（平成6年）足立区まちづくりの複合施設としてオープンしました。敷地は1930年（昭和5年）開園の「愛恵学園」という社会福祉の幼稚園を足立区が譲り受けています。



大きな「しいの木」(写真上左)を中心に奥に「愛恵まちづくり記念館」(写真上右)がありました。この建物は最も古い洋式園舎「愛の家」を保存整備したものとのことです。



手前には「まちづくり工房」(写真左)があります。いずれも区と地域が協働で進める街づくりを実践する施設で貸会議室、レンタルスペース、イベントスペースが予約・有料で利用できます。工房は地域工業者に快適な貸し空間を提供しています。

[西新井駅入口交差点] 足立区西新井栄町三丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン西新井駅

西新井駅入口交差点(写真下左)を右折すると東武スカイツリーライン(伊勢崎線)西新井駅です。尾竹橋通りは直進ですが、すぐ先左に「西新井大師道」入口(写真下右)がありますので「西新井大師」に立ち寄り、お参りします。



[西新井大師] 足立区西新井一丁目 最寄駅 東武大師線 大師前駅

西新井大師道を歩き、環七通り(都道318号線)を渡り、表参道(写真下左)を入ると、江戸時代後期に建立の「山門」(写真下右)に到着です。



「西新井大師」は空海（弘法大師）が関東巡錫の途中で、西新井を通った時に本尊である観音菩薩の靈託を聞き、十一面観音菩薩を彫り、826年（天長3年）に寺院を建立したと伝わります。真言宗豊山派で川崎大師と共に関東の厄除け大師として賑わっています。江戸時代中期建立の本堂は1966年（昭和41年）の火災で焼失、でもご本尊は難を逃れました。現在の「大本堂」（写真下左）は1971年（昭和46年）の再建です。「西新井」の地名は境内にある弘法大師によって掘られた井戸が本堂の西側にあるのが由来とのことです。写真下右は「三匠堂（さんそどう）」、俗に栄螺堂（さざえどう）ともいわれ江戸時代に賑わった仏堂です。1884年（明治17年）の建立で、都内に残る唯一の貴重な建築物とのことです。



西新井大師については寅さん歩 61 健康ご利益めぐり 23 足立区、寅さん歩 109 江戸・東京の祭—37（江戸らしい祭—18）納めの大師をご覧ください。

[満願寺前交差点]

足立区西新井栄町三丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン 西新井駅

西新井大師を出て環七通りを左へ進むと尾竹橋通りと交差する満願寺前交差点（写真下左）です。ここで尾竹橋通りに戻ります。

「満願寺」（写真下右）は安土・桃山時代の天正年間（1573～1578年）創建の真言宗豊山派寺院です。1985年（昭和60年）尾竹橋通りが墓地の一部を縦貫したため墓地の大改葬が行われました。



[前沼交差点] 足立区西竹の塚二丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅

前沼交差点（写真下右）で中央通りと交差し、左は舎人方面、右は竹ノ塚駅・日光街道方面です。尾竹橋通りは直進します。



[東岳寺 安藤広重の墓] 足立区伊興本町一丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅

左側にある「東岳寺」の門前に「東京都指定旧跡 初代安藤広重墓及び記念碑」の案内石標（写真下左）を見つけ、立ち寄りました。墓所（写真下右）は入って左側にありました。

案内板によると「安藤広重(1797～1858)は、江戸時代後期の浮世絵師です。広重は、八重洲河岸定火消組同心の子として生まれ、文化8年(1811)、15歳のとき歌川豊広に入門し浮世絵を学び、歌川の画姓と広重の号を許されました。浮世絵諸派の画風を学ぶとともに洋画の遠近法を加味し、風景画や花鳥画で人気を集めました。また、天保年間には「東海道五拾三次」を發表し、一躍名声を得たことでも有名です。なお現在では、安藤広重ではなく、歌川広重という呼称が一般的です」と記載。



【法受寺】 足立区東伊興四丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅

左側の東伊興四丁目には13の寺院が密集した寺町があります。関東大震災後に寺院が移転して来て誕生した寺町です。代表して尾竹橋通り沿い近くにある「法受寺」に立ち寄りました。992年(正暦3年)開山の浄土宗の寺院で徳川五代将軍 綱吉の生母 桂昌院のお墓(実家の本荘家の墓)があるとのことでした。桂昌院の正式なお墓は徳川將軍家の菩提寺の増上寺にあります。



寺町の先には伊興氷川神社・伊興遺跡公園があり、発掘調査で縄文時代の終わり頃の土器や古墳時代初期の出土品が見つかっています。寅さん歩 31 東京の富士塚めぐりー8（足立区）をご覧ください。

[伊興白幡交差点] 足立区東伊興四丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅

伊興白幡交差点（写真下右）で日光街道方面から来る都道 103 号線と交差して、尾竹橋通りも都道 103 号線と合流します。



[谷塚橋] 足立区東伊興二丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅

写真下左右は毛長川にかかる「谷塚橋」です。大昔の伊興付近は毛長川岸に村があり、毛長川で漁を行っていたことが古墳時代の出土品で分かるそうです。



[谷塚橋北交差点]

足立区東伊興二丁目

最寄駅 東武スカイツリーライン 竹ノ塚駅



谷塚橋北交差点（写真左）が埼玉県との境で尾竹橋通りの終点です。

起点から終点まで歩き、馴染みが薄かった足立区について多くを学びました。尾久橋通りでも感じましたが、道路沿いに「海拔 2m」と表示された海拔の低い場所が足立区に多くあるのに驚きました。

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク 松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約 600 里（約 2400 km）の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022 年 4 月 26 日、江戸深川（現在の江東区深川）を出発、2023 年 2 月 15 日 弥彦（現在の新潟県弥彦村）（江戸深川から 1416 km）に到着しました。

弥彦には創建からおよそ 2400 年の越後一宮 彌彦神社があります。

この後、出雲崎へ向かいます。

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝